

◆平成31年度GW前の安全利用点検を実施しました

◆富士川砂防事務所では毎年、GW前及び夏休み前に管内砂防施設周辺の安全利用点検を実施しています。

GW前の点検として、4月4日～15日の間に、50箇所での点検を実施し、転落防止柵の再設置、露出鉄筋の除去、看板の再設置等11箇所の補修を実施しました。

◆安全利用点検とは・・・

砂防施設を整備する地域は、優れた景観に恵まれている溪流等が多く、水と緑が豊かな貴重な空間であり、レクリエーション活動等の場として多くの人々に利用されています。

安全利用点検は、砂防施設管理者が砂防施設利用者の観点で点検を行うものです。

一般利用者のみなさまにおかれましては、自己責任による安全確保を心がけていただくことが重要です。

◆点検結果

流域名	点検箇所数	補修箇所	主な補修内容
釜無川上流域	17	1	転落防止柵の補修
流川, 神宮川, 尾白川, 大武川, 小武川流域	13	5	露出鉄筋の除去、管理用通路(階段)の補修
早川流域	20	5	看板及びトラロープ設置、老朽化した看板の撤去
合計	50	11	

◆安全利用点検の実施状況



釜無川上流域の点検状況▲



▲大武川流域の点検状況



大武川流域の点検状況▲



▲早川流域の点検状況

主な対策事例①

◆釜無川上流域

補修前



転落防止柵の
横棧の抜け落ち

転落の危険性あり。

補修後



横棧の再設置

横棧の再設置により
転落を防止。

主な対策事例③

◆流川, 神宮川, 尾白川, 大武川, 小武川流域

補修前



本堰堤下流側に降りる
管理用通路の擬木階段のずれ

踏み外しによる
転倒の危険性あり。

補修後



擬木階段を固定し、
砂による整地

擬木の固定及び背面の整地により
昇降時の安全性の向上。

主な対策事例②

◆流川, 神宮川, 尾白川, 大武川, 小武川流域

補修前



床固め工の魚道部で
摩耗により鉄筋が露出。

川へ入った人が
怪我をする危険性あり。

補修後



露出した鉄筋を除去

露出した鉄筋の除去により、
川の中での安全性が向上。

主な対策事例④

◆早川流域

補修前



立入禁止柵の転倒。

危険箇所へ侵入して
転落の危険性あり。

補修後



立入禁止柵の再設置

立入禁止柵の再設置により、
危険箇所への侵入を防ぐ。